



アグローへの神の召しは、決して弱まることはない

God's Call Upon Aglow Has Never Diminished

ジェーン・ハンセン・ホイット

2024 アメリカ大会 – 金曜午前セッション

私たちがこのように共に集められる度に、少なくとも私にとっては、60年代に起こった聖霊様の美しいムーブメントが再び思い出されるのです。神の呼びかけへの気づきが女性たちにも伸ばされ、深い、信じられないようなことが始まりました。多くの人々が聖霊のバプテスマを受けました。ある人たちはそれをカリスマ刷新運動(リニューアル)と呼びます。感謝なことに、その多くの人々の中に私もいました。シアトルにある聖ルカ教会(聖公会)のデニス・ベネット神父に、神がその生涯に信じられないほど素晴らしい方法で働きかけられました。

彼の著書にある通り、聖公会の司祭であったベネット師が聖霊に満たされたのです。ロサンゼルス近郊の教会を牧会をしていた時に、彼の人生の中で、驚くべき力強い聖霊の動きを経験し異言を話し始めたのです。それは彼にとって大きな祝福となりましたが、同時に聖公会の人々にとってはかなり混乱を招くものでもあったと思います。結局、彼はその教会を去ることになりました。最終的にシアトルに落ち着いたことは何と素晴らしい祝福だったことでしょう。そこから、神はベネット師をムーブメントの始めの段階で用いられ、彼は、聖霊の力について・聖霊のバプテスマ、聖霊の内住について語りました。それは彼にとって人生を変える経験でした。

この経験から、強力な聖霊の働きが聖ルカ教会からシアトルの他の多くの教会、カナダ、そしてアメリカの多くの州へと、最終的には世界中へと広がり始めました。なんと感謝なことでしょう。

このことから、最初に申し上げたこと、つまり、私たちが集まるたびに、絶えず、女性たちに愛らしい形で触れ始めたこの力強い聖霊の働きに気づき、畏敬の念を抱いていることに立ち返ります。これは女性たちの中に起こった目覚めです。女性たちだけに限定しませんが、これが今日のための私の出発点です。60年代半ばに誕生したこのミニストリー、そして神がそれをどのように取り、それを持って世界を巡り、女性たちに信じられないほどの影響を与え、家族や結婚生活にまで影響を及ぼし、私たちに命を与えてくださったのか、控え目に言っても、私たちはそれをとっても感謝しています。

**アグローは今こそ、このような時に召されている Aglow Called for Such a Time as This**

数年前、国際事務所のスタッフが「10年メッセージ」と呼ぶメッセージをしました。私は60年代から始めて、年代毎に、この地上で起こっていること、キリストの体の中で起こっていることを10年単位で話しました。その中で、頻繁に使われるフレーズは「神はこのような時に私たちを召しておられる。」です。私たちは互いにこのことを言いますし、壇上からも語ります。このような時に召されていると知っているという認識です。

今朝のメッセージについて考えていると、神が為されてきた数十年の枠組みに戻りました。今朝はそこから始めたいと思います。ですから聖書のこの章をめくってこの節を読んで、それについて話し合い、靈感を受けるというだけではありません。今朝、皆さんと共に考えたいことは、私たちがミニストリーとして、この数十年間に何が起こっていたのかを振り返り、それが「あなたは**この**ような時に召されている」という力強い宣言であることを理解することです。

アグローは、起こっていることと歩調を合わせていました。私たちは新しい命に満ち溢れていました。私たちは、そのすべての期間を通して、信じられないような方法で現されていました。これは、メモを取りたくなるようなメッセージではないかもしれません。ただ耳を傾けたいと思うかもしれません。そして、私が数十年を振り返りながら語るのを聞きながら、あなたは「ああ、そういえば、そんなこともあった」と思い出すかもしれません。

世界で起こっていたことすべてと並行して、その時点では「ウィメンズ・アグロー」と呼ばれるミニストリーがあったことを覚えておいてください。神がこの運動を平行して起こされ、最終的にはこの数十年間、そして究極の時へと向かう中で神が成そうとされることを生み出す、この地上における強力な祈りの運動となるように意図されました。私たちの大半は、まさに終わりの時代に生きていますと感じています。ですから、私たちの記憶を新たにすることは興味深いことです。

## 1960年代

私見ですが、それは我が国(アメリカ)がほころび始めた時期だったと思います。1960年代に戻り、当時起こっていたことに思いを馳せますか？社会は混乱していました。繰り返しますが、それはほころび始めた時期でした。最近の選挙(米国の大統領選 2024年)のおかげで今私たちは絶好調です。しかし、より大きな視点で見た場合、つまり今日私が言及しているような視点で見ると、変化が起こり、崩壊が進んできました。

60年代、私はカリフォルニア州バークレーに住んでいました。当時、バークレーは今のような街ではありませんでした。ほころびの始まりがいくつか見られるものの、美しい大学街でした。カリフォルニア大学のキャンパスから数ブロックの場所に住んでいました。父はバークレーに教会を持っており、その教会はキャンパスにとっても近い場所にありました。

父が「まるで悪魔の居城にやってきたようだ」と言っていたのを覚えています。どういう意味だったのでしょうか？私はまだ若かったので、当時起こっていたことの動きにはあまり鋭く反応していませんでした。本当に崩壊の始まりでした。そして、その一端はバークレーで始まったのだと思います。

60年代に、あるムーブメントがありました。「神は死んだ」というフレーズを覚えていますか。これはティモシー・オレアリーが始めたもので、カリフォルニア大学バークレー校の活動家たちがそれを引き継ぎ、やがては全米、さらには世界中で語られるようになりました。

マリオ・サヴィオはアメリカの活動家でした。バークレーの言論の自由を求める運動の主要メンバーで、最終的には世界中に広がりました。その運動では、活動家たちに非人間的なシステムに対し抵抗するため、市民として服従しないよう奨励していました。

冷戦が激化していました。懸念すべき政治体制が存在していました。60年代にはフェミニスト運動が始まりました。ベティ・フリードマン、グロリア・スタイマン、この名前に聞き覚えはあり

ませんか？彼女たちは頻繁にニュースで話題になっていました。その当時、ただただ不服従と怒りの霊が露出されていました。

ケネディが暗殺されました。ゲイ(同性愛)の権利を求める運動が始まりました。公民権運動が始まりました。アメリカ国内で数多くの人種暴動が起きました。ベトナム抗議運動が起きました。他にも色々ありましたが、ハイライトだけを取り上げているに過ぎません。

そんなことが起きている只中で、神の霊による世界的なムーブメントも起こっていました。この女性組織は、当時誕生した組織の一つであり、明らかに、今日まで存続しています。

アグローの息の長い歴史について考えるとき、本当に私たちは神によって守られてきました。同じ頃に、いくつか他の団体も生まれ、力強く主に用いられましたが、今ではもう耳にすることがありません。それは私にとって非常な驚きです。アグローのことを考えると、小規模の女性組織だったものが、それ以上のものになりました。今、私たちは兄弟たち(男性たち)を歓迎し、素晴らしく容易い方法で彼らと共に歩んでいます。

神がアグローを誕生させました。神の手は、この年月、アグローの上に置かれてきました。神は、このミニストリーの中で、何十年にもわたって用い続けてこられた何かを、今日まで保ち続けてこられました。それは、興奮と期待感です。それが皆さんにとってもそうであることを願います。「主よ、あなたは私たちに何を語っておられるのでしょうか？そして、私たちに何をなさりたいのでしょうか？」というワクワクと期待です。必ずしも私たちが活動に忙しくする必要はありませんが、神が御霊によってなさっていることに注意を払う必要があります。なぜなら、神はまだアグローを終わらせていないからです！おそらく、神は決して終わらせないでしょう。終わりを暗示しているのでもありません。とても敏感に、とても繊細に注意を払う必要がある何かがあるのです。

シアトルで小さなグループから始まったものが、別のグループとともにカナダへと広がりました。今日、私たちはおそらく 200 カ国に広がり、170 カ国で活動しています。神だけが、神様だけが、そのことを成されるのです。

## 1970 年代

ゲイの権利運動が活発化。ニール・アームストロングが月面着陸。米国で 18 歳に選挙権が与えられました。ニクソン大統領が中国と国交を樹立。ロー対ウェイド事件により米国で中絶が合法化。ニクソン大統領が弾劾される。米国がベトナムから軍を撤退。ビリー・グラハムが南アフリカで初の統合伝道集会を開催。ジミー・カーターが大統領に選出。アップルコンピュータが設立される。宇宙船バイキング 2 号が火星に着陸。イスラエルとエジプトがキャンプ・デービッド合意に署名。世界初の試験管ベビーが誕生。ホメイニ師がイラン・イスラム共和国を宣言し、宣戦布告。マーガレット・サッチャーが政治の世界で頭角を現し始めました。以上が 70 年代の主な出来事の一部です。

## 1980 年代

レーガンとゴルバチョフが会談し、軍備管理協定を強化することで合意しました。アグローがイスラエルで結成され、その国際会議で初めてイスラエルの旗がパレードの旗に含まれ、屋根が吹き飛ばすような祝福を受けました。私たちの真ん中にイスラエルの旗があることに、人々はとても

恵みを受けました。そしてイスラエルと何かの関係を築いていることを知りました。それは、最終的にアグローがイスラエルに召されたことの指標であり、主がイスラエルに関して私の心に語られたことの成就でもありました。ベルリンの壁が崩壊しました。鉄のカーテンが取り払われました。冷戦の終結です。

アグローの大会では、東西ドイツの女性たちが旗のパレードで手をつないで歩きました。覚えていますか？観客は歓声を上げました！それは素晴らしい瞬間でした。

## 1990年代

1990年代には、湾岸戦争がありました。1991年、オランダでの世界大会で力強い預言の言葉が与えられました。私たちはそれを「糸の言葉」と呼んでいます。神が私たちの手に糸を渡され、イスラムの衣をほどかれるという意味です。ここで、サンディとダイアンは忠実さを称えたいと思います。彼らは17年間、月曜の夜に電話による祈り会を行ってきました。神は、その祈り会において力強く働かれます。サンディは、イスラエルへの呼びかけを監督する中で、イスラエルに関する情報を集めるという素晴らしい働きをしています。ダイアンも、イスラムに関して力強い働きをしています。神が中東で行っておられることに対する新鮮な感覚と認識、理解を維持するために彼女たちは用いられてきました。私は、このお二人の働きを尊敬しています。あなたがたは私たちの働きを祝福してくれました。この方たちは、決して自分たちに注目を集めようとはしません。これはアグローの人々にとって真実です。私たちは皆、共に歩んでいます。主の御前で謙虚であり続けましょう。主の近くにいきましょう。すべては主についてなのです。

それは神がアグローを支え続けてくださっている理由の一つなのかもしれません。私は、女性は生まれつき、靈的にも肉体的にも何かを生み出す存在であることを知っています。しかし、男性が靈的な領域で何かを生み出さないというわけではありません。女性が何かを手に入れることに、何か独特なものがあります。それは、神が成し遂げたいと願っておられることを、女性が知っているということです。それは、あなたの人生から始まり、そしてあなたの家族へと広がっていくのかもしれませんが、しかし、それがどのようにしてあなたの街、州、国、そして世界の国々へと広がっていくのでしょうか。神が起こされたことは驚くべきことです。私は、神の御霊がこのように働きかけ、女性たちに具体的な召しと目覚めを与えられるのを他に知りません。それは独特で、力強く、神が栄光を受けられます。

それで、私たちは90年代に入りましたが、湾岸戦争と与えられた「糸の言葉」について話しました。ダイアン・フィンクによって与えられた言葉です。非常に力強い言葉でした。神が私たちの手に与えるのは、すでに述べたように、イスラムの衣を一つ一つ解きほぐす糸です。私たちは人々に対してではなく、体制(システム)について語っているのです。長年にわたって、多くの祈りと戦いが捧げられました。中には、湾岸地域にまで足を運び、文字通り地に足をつけて立ち、神が何をなさりたいのかを宣言した者もいます。

90年代に、この世界規模の女性フェローシップは名称を変更し、ウィメンズアグローからアグロー・インターナショナルへと移行しました。私たちは、影に隠れていることにうんざりしていました。私たちはまさにその始まりの段階にいます。そして、私たちはアグロー・インターナショナルとなったのです。

## 2000年代から現在まで

アグローは最初の一団をイスラエル旅行に連れて行きました。かなりの人数でした。人々は、その招きに応える時が来るのを待っていたかのようでした。主は私に語りかけ「ジェーン、あなたはこれから何年もの間、何度もイスラエルに出入りすることになるだろう」と言われました。それが実現したのです。それが完了したのかどうかは分かりませんが、実現しました。

アグローは続けて人々をイスラエルに送り始めました。私は、偶然にも他の団体との関わりで、委員会の集まりや、そのようなものに参加していました。そして私たちはエルサレムで会合を開きました。もちろん、参加しない手はないでしょう？皆さんが神が地上で行っていることの周辺に集うにつれ、あなたがたの世界は小さくなり、遠く離れたものや、向こう側にあるもの、遠いものと思われたことが、身近で個人的なものとして動き始めます。そして、あなたは聖霊のなさっていること、そして神の地上における計画の成就のただ中にいることに気づくのです。私たちはその中にいます。あなたもその中にいるのです。気づいていますか？

第二次インティファダが始まりました。

### **プラグを抜いて配線し直す Unplugged and Rewired**

2003年、たしか国際大会だったと思いますが、「アグローは過去からプラグを抜き、未来のために配線し直した」という言葉を覚えていますか？覚えていますか？私が配信してきた文章で、つまり私の手紙(ブログ:ジェーンのレター)でも、このフレーズを頻繁に使用してきました。「過去からプラグを抜いた」という表現は、ただ過去のすべてから離れ、今から向こうへ行ってこれをしようという意味ではありません。このミニストーリーのために素晴らしい基盤が築かれ、提供されてきましたが、その繰り返しのうちに留まり、神が私たちに目的としておられるように何十年も動き出さないというわけにはいきません。ですから、その意味で、私たちは当初考えていたアグローとは違うものになりました。そして、アグローを通して神が最終的に成されることの偉大さについて、より明確な地点へと移行しました。私はこのミニストーリーを自慢したいのではありません。何十年にもわたって起こったことを理解し、認識する必要があると言っているのです。なぜなら、それは今日でも神が成しておられることへの洞察を与えるからです。

人生には潮の満ち引きのようなものがあります。私たちは皆、それを経験してきました。御霊の働きにも潮の満ち引きがあるのです。それは、御霊自身を遠ざけるという意味ではなく、御霊が再び新たな注ぎや新しい御言葉をもって来られるまで、しばらくの間、その中で歩むことになるという意味です。しかし、それは次々と積み重なっていくものです。ある場所から引き抜いて別の場所に移すというようなものではありません。そういう類のことではありません。建物が建て上げられているのです。アグローはそれを経験してきました。

本当に素晴らしいです。私たちのために場所を用意してくださいました。国際本部の皆さん、本当にありがとうございます。手紙を書いたり、出版物を扱ったりしています。主が何をなさっているのか、絶えず意識していますか？主は何を語っておられるのか？私たちが発表(出版/配信)すべきことは何か？(アグローの)人々は何を必要としているのか？彼らを養うものは何か？皆さんを励ますものは何か？アグロー・インターナショナルにおける聖霊の働きに対する気づき、興奮、期待の枠組みの中で、その基盤にしっかりと立ち、動くことができるという継続的な感覚を皆さんに届けるために、私たちは何を提供できるのでしょうか？

その時、2003年に、私たちは過去からプラグを抜き、未来のために配線し直したという言葉が与えられたのです。

## イザヤ書 22:22

それは2004年だったと思います。ダッチ・シーツが来られていました。彼はイザヤ書22章22節から語り、「アグローよ、22はあなたがたの番号だ。」と言いました。今でもその光景が目に浮かびます。ダッチは鍵を手にして、こう言っているのが聞こえます。「わたしはあなたに鍵を渡した。わたしはあなたに鍵を渡した。わたしはあなたに鍵を渡した。アグロー、わたしはあなたに鍵を与えました！わたしはあなたに鍵を与えました！わたしはあなたに鍵を与えました！そして、あなたは地上で多くのことを解錠し、天の御心を地上にもたらずでしょう。あなたはわたしの大使となり、わたしの祈りのパートナーとなり、わたしの戦士となるでしょう。あなたはわたしの心を表現し、意志を表現し、天を地上にもたらずでしょう！」



そして、あなたがた(アグロー)はそれを成し遂げました。長年にわたって、私はそれを何度も何度も見てきました。そして、神が私たちに鍵を与えてくださったという認識があります。私たちは唯一のミニストリーではありませんが、天から鍵を受け取る地上のミニストリーのグループの一端となるだろうと、語られました。

その鍵はベッドの横のテーブルの上に置いています。私と共に働きましょう。私はその鍵を日々のリマインダー(忘れないように)として持っています。毎朝それを見ています。毎晩それを見ています。アグローのことを想います。神が語られたことは、神が成就されたことを想い、これから成就されることばのことを想います。「わたしはあなたに鍵を与えた。私はあなたに鍵を与えたのだ。」

その他、思いつくままに言います。スペースシャトル「コロンビア」が爆発し、7人の宇宙飛行士全員が命を落としました。Facebook。ソーシャルネットワークキングが人気を集め始めました。アジアで巨大な津波が発生しました。壊滅的な状況で、数千人が亡くなりました。ハリケーン「カトリーナ」がメキシコ湾岸の多くを破壊しました。大勢が家を失い多くの命が失われました。

## マリヤ軍団

アッシャー・イントレーターが語ったのも、2000年代でした。彼は何度も来てくださいました。彼は、アグローはキリストの再臨を導くために天とパートナーシップを組むマリヤの軍団であると語りました。これを覚えていますか？キリストの再臨を導くために天とパートナーシップを組むマリヤの軍団です。

アメリカアグローは、国内を12の地域に区分しています。各地域は、1年のうち1か月をとり、ワシントンDCに執り成しの祈り手を派遣してきました。それは2008年から続いています。

彼らは首都で政府、大統領、国家のために1週間祈りを捧げます。

米国の各地方からワシントンDCに祈りのチームが派遣され、首都で1週間祈りを捧げました。毎月、毎月、カバーされていたのです。ワシントンDCにはアグローの女性や男性がおり、政府

のために、大統領のために、この国のために祈り、他の祈りのミニストリーと関係を築いていました。最近経験した勝利も、神の男女の祈りによるものだったのではないかと思います。

さて、私たちはまだ 2000 年代にいます。

私は王室の動向を常にチェックしているので、これも加えなければなりません。とても美しいロイヤルウェディングがありました。また、エリザベス女王の逝去も見届けました。女王はキリストを信じる信者であったと信じています。そして、チャールズ王とその一家が主と出会い、永遠に変えられる経験をされるよう、王室のために、これからも引き続き祈っていく必要があります。

これは少し陰鬱な話題ですが、ISIS による斬首や、人々に対する恐ろしい攻撃がありました。パリ気候協定が締結されました。英国が EU を離脱しました。ブレグジットが(英国 EU 離脱)現実のものとなりました。ドナルド・J・トランプ氏が米国大統領に就任しました。

多くの多くの多くの人々がコロナから回復しました。何百万人もの人々が影響を受けました。ロシアがウクライナに侵攻しました。米国と中国の緊張が高まりました。気候変動が深刻化しています。インフレが再燃しています。そして、世界で最も長く君臨した君主が亡くなりました。エリザベス女王です。トランプ大統領には暗殺未遂が 2 度ありましたが、私たちは彼が再選されたのを見ました。つまり、彼は第 45 代であり、第 47 代の大統領になります。

米国では、グーグルによると、ロー対ウェイド裁判が可決されて以来、6300 万人以上の人工妊娠中絶が行われたとのこと。神よ、私たちをお赦してください。

国境問題について考えます。これは、最近の選挙プロセスで頻繁に話題に上ったことの一部です。国境を越えてやって来る数えきれないほどの数の人々。審査を受けず入国した人々。刑務所から出てきた人々。殺人犯。強姦犯など、あらゆる人々がやって来ます。中には善良な人もいるでしょうが、現政権(バイデン)の監視下で発生している米国の状況があります。私たちは、祈りの時間や戦いやとりなしの時に真剣に取り組むべきことがあります。

ニューヨーク・ポスト紙やその他の出版物によると、バイデン=ハリス政権は、性的人身売買の危険にさらされている数えきれないほどの数の移民の子供たち約 32 万人の所在を把握できていません。この組織的な失敗は、早急な対応を必要としています。私たちは子どもたちの安全を確保する必要があります。

最近では、ネタニヤフ首相による歴史的なイラン攻撃がありました。そして、私たちは人々を愛しています。しかし、対処すべきシステムが存在します。ですから、ネタニヤフ首相の姿勢やイラン攻撃について考えると、ある意味では、彼はより安全な世界のために先頭に立って指揮していると言えるでしょう。フォックス・ニュース(アメリカの保守的テレビ局)だったと思いますが、インタビューを受けているラビの声を聞いたことを覚えています。それは、こうしたことが起こっていた時期のことでした。そのラビは「我々、イスラエルは、皆さんの戦争を戦っているのです。」と何度も言いました。土曜日の民(ユダヤ人)が第一で、次に日曜日の民(キリスト教徒)が続きます。

私は、アグローがこの地球上で果たす役割、私たちがこの国や世界の国々を守るために担っている祈りの力と守りの壁について、いつも考えています。神があなたを召し出されたこと、そして

神が私たちに召し出されたことを決して軽く見てはいけません。それは本当に驚くべきことです。

そしてついにイスラエルはイランに報復しました。歴史的な攻撃、あるいは歴史的な力の行使として、何百機ものイスラエル軍機が初めてイランを攻撃しました。イスラエルの安全を祈らなければなりません。

願わくは、これは第一歩で留まることです。しかし、イスラエル首相のネタニヤフが直面している課題は、イスラム共和国イランの脅威を、自由を愛する世界全体から取り除くという課題です。その課題は大きいものです。

そして、先ほどロサンゼルスของラビの「私たちは皆さんの戦争を戦っています」という言葉を引用しました。さあ、アメリカよ、立ち上がりなさい。

イスラエルのネタニヤフ首相は、このことに関して非常に積極的です。彼は、自由を愛する世界のリーダーの一人であることを自ら証明しています。私たちは打ち勝つと。

数年前の私たちのテーマソングのひとつに「私たちは打ち勝つ」という曲がありました。

以上が、私たちの記憶を呼び起こすいくつかの出来事でした。何十年にもわたる世界の動向、そして再度理解するのは、アグローに対する神の召しがそれほどまでに、重要で、タイムリーだということです。

灰の中から天からの何かが現れつつあります。それは出現しなければなりません。神だけが作り出せる何かです。神は人間の努力を失敗させます。この最後の働きは神のものであり、神だけです。神は私たちに参加させるよう召されるかもしれませんが、これは天で始まったことだと私たちは知ることになるでしょう。アグローよ、注意深くあれ。私生活においても注意深くあれ。交わりにおいても、州の集会においても、地域の集会においても注意深くあれ。注意深くあれ。なぜなら、私たちは信じられないような時代に生きているからです。

これらのハイライトのいくつかについて触れ、また、時事問題を見ても、アグローは本来政治的な団体ではありませんが、正直に言って、私は先日の選挙で、神の御手を感じました。私たちは皆、ドナルド・トランプの経歴を知っていますが、神が彼を選ばれたのです。そして、彼の耳をかすめた銃弾について、彼は「神が私を救ってくださったことを知っている」と言っています。彼自身それを奇跡として認めています。彼の心が変えられたと私は信じています。そして、私たちは彼の心が今どこにあるのか分かりませんが、神は関与しています。そして、神はドナルド・J・トランプを御自分のために必要としているのです。彼が抱えているものがあり、私たちが実際にそれを目にすると、「ああ、兄弟よ、本当に？」と(不安に)思うでしょう。そして、神は「そうだよ、本当だよ。ただわたしを見ていなさい。」と言われます。

私たちは裁くためにここにいるわけではありません。天と手を繋ぎ、天の声がはっきりと大きく聞こえるように、この地上で道筋を作るためにここにいるのです。

### **アグロー：祈りのムーブメント（運動）**

この何年もの間、私たちは心に何を抱えてきたのだらうと思います。私は、本当に、この何年もの間、アグローの歩みに参加してきた特権に恵まれてきたと思います。アグローは何かを担って

きました。もちろん、私たちは本質的に伝道活動を行っていますが、信じられないほど深く、本物で、貴重な何かを担ってきました。そして、時には、私たちは祈りのムーブメント(運動)になっているようにさえ思えると言いたいのです。祈りと伝道をしていることは知っていますが、祈りが私たちのミニストリーの中心的な役割を担うようになりました。

これだけは言わせてください。ナンシー、あなたの誠実さを尊敬しています。デイブも同様です。何年も、あなたがたがこのミニストリーで忠実に奉仕し、祈りのムーブメントを導いてくださいました。あなたと私は時々一緒に奉仕します。私たちは緊密に連絡を取り合っています。ナンシーを愛していますし、彼女がしてくれたことすべてにとっても感謝しています。

当初、いくつかのことが始まったように思えました。これは、ナンシーがこの働きに加わる前だったでしょう。ご存知のように、祈りを始めたばかりの頃は、私たちは聖霊のバプテスマを受けて間もなくの頃は、賛美と礼拝に専念していました。そして、一日中、高揚感に包まれていました。それは素晴らしいものでした。

### **政府の執り成し Governmental Intercession**

私たちは、神が家族の中で、また私たちのそれぞれの人生(生活)の中で働かれるのを見ました。しかし、今、皆さんに分かっていただきたいことは、私たちはある意味で、離れたわけではないのですが、その意味で調整された、あるいは調整されてきたというべきでしょうか、より政府の執り成しへと移行したということです。アグローの活動、特に祈りのグループや聖書勉強会について考えるとき、政府的な執り成しの祈りに焦点を当てた大きな推進力があり、それが私たちを長い期間かけて変えてきました。

以前も、私たちは世界の出来事について認識していましたが、神が物事を絞り込み、強調し、世界の出来事を強調し、皆さんの参加の重要性を強調したことで、まさにその出来事において、皆さんの霊の中でいくつかのことが変化し始め、自分自身や自分のニーズ、必要なものにはばかり関心が向いていたという、その主な焦点を次第に失ってゆくのです。

### **神の究極の意図 God's Ultimate Intention**

それは、より高いレベル、より高い参加へと向かいます。これは、天を地にもたす大きな要素の一部だと信じます。神の究極の意図は、私たち一人一人が自分の個人的な世界を統治し、神や他の人々と協力し、自分たちの周りの世界を統治することです。アグローにおける祈りのムーブメントは、まさにその意味での焦点が当てられ、重要性、意識を帯びています。

あなたがたは、私たちの国で物事を移行しつつあります。そして、世界の国々でも物事を移行しつつあります。それを軽く受け止めてはいけません。集会をどのように開催するかという実務に気を取られてはいけません。集会はきちんと開催すべきですが、その領域だけに気を取られてはいけません。天が語っておられることに気を取られましょう。そして、私たちはどのように参加できるのでしょうか？

昨夜寝る前にメッセージについて考えていたとき、天だけが、神があなたやアグローを通して行われたこと、行っておられることをすべて明らかにしてくださるという事実を思いました。繰り返しますが、私はアグローを誇張しているのではなく、へりくだって考えても、私たちのミニス

トリーに対する神の御手があることを喜びのうちに認めざるをえません。神は真剣に受け止めておられ、私たちもそうすべきです。

今朝はいつもと少し違いますが、数人一緒に来てくださった方がいます。グレンダ・フレミング。面白いことがありました。皆さんにも同じことが起こっていると思いますが、先日、1週間、2週間前、いや1週間前でした。私が電話したのか、それともあなた(グレンダ)が電話をくれたのでしたか？

私たちが電話で話していた時に、神が彼女の心に置かれたことを分かち合ってくれました。今朝のメッセージは、聖書の何章何節です、これを読んでくださいというようなものではないのですが、私は、その電話が今朝のメッセージと一致していると思います。私たちはこのように年に一度しか集まりませんが、それは、私たちのミニストリーで神が何をなさっているのかを見つめ、私たちのミニストリーの土台や基盤を認識するための会話のようなものです。

そして、私たちがこれから数日間共に過ごす中で、それは築き上げられていくと信じています。今夜のチャックのメッセージ、他のスピーカーのメッセージを聞くのが待ちきれません。なぜなら、私たちは神の御業を知っているからです。神は何かを組み立てられることも。そして、私たちがこの場所を去る時には、何かを知るようになり、あるいは過去に聞いたことの確認をすることになるでしょう。

今朝、私たちは何を聞いたのでしょうか？主の驚くべき御業、何十年にもわたって今日まで主が働いてこられた方法です。私たちの召しは依然として強く、明確なままです。その召しにはあなたも含まれています。そして、アグローは共に、未来へと、新しい日(New Day)へと前進していきます。主は、私たちが歩むべき一步一步を明らかにしてください。

主よ、私たちは、あなたの聖霊の力によってこのセッションに印を押し、今朝あなたが私たちに語られたことを心に刻みます。おそらく、語られた言葉もあれば、語られなかった言葉もあるでしょう。しかし、私たちは皆、主の御霊について何かを感じ取っています。主が私たちの心に、生活に、私たちのグループに、そして私たちの国に働いてくださっていることを宝とします。ですから、この大会の場で、主が私たちに語ってくださること、その偉大さについて、さらに深く掘り下げていくために、主により頼みます。私たちの焦点を鋭くしてください。耳をより研ぎ澄ませ、主が私たちの前に示してくださった道筋を明らかにしてください。

( )内は、翻訳者が付け足しました。  
本筋と関係のない冗談等は省きました。